

書評誌のパイオニア Times Literary Supplement(TLS)の創刊号以降を 誌面イメージで提供 TLS Historical Archive 1902-2007

センゲージラーニング株式会社

Times Literary Supplement Digital Archive は、Times Literary Supplement (TLS)のすべての記事を創刊号から冊子体の紙面イメージで提供するデータベースです。現在、創刊号から2007年までの約15万ページ、30万件の記事が提供されますが、毎年一年分のバックファイルが追加されます。



トップページ：基本検索画面

創刊の経緯

もともと、議会休会中に議会関係の記事の欠落を埋めるためにタイムズ紙の文芸補遺欄として構想され、1902年1月にスタートしたLiterary Supplementは、当初タイムズ紙の一部として発行されていましたが、1914年2月19日号からタイムズ紙とは別売の形態でも発行されるようになりました。1ヵ月ほどタイムズ紙の一部としての発行形態と別売の形態が並行、1914年3月12日号から別売の形態のみでの発行が始まり、現在に至っています。

書評誌のパイオニア

今でこそ書評誌は多く発行されていますが、TLSはアメリカのNew York Times Book Review (1896年創刊)と並ぶ書評誌のパイオニアとして、世界の知識人、批評家、作家、読書人の尊敬を集めてきました。その書評は、一般にイメージされる書評とは大きく異なります。一つ一つの書評が長く、また一冊の書籍を取り上げる場合でも単なるその書籍に関する批評に止まらず、他の書籍にも言及しつつ俯瞰的であり、書評というよりも書評という形式を借りた論文という方が相応しい場合が多いのが特徴です。名批評として長く後世に残るものも少なくありません。



匿名記事の著者を明らかに

TLSは創刊当初から、公正な議論を確保することを目的として書評は匿名で掲載するとの編集方針を維持してきましたが、1970年代、著者名を明示するとの編集方針に転換しました。TLSをデータベース化する際には、匿名の書評と著者を紐付けし、創刊号以来のすべての記事を著者から検索できるようにしました。匿名の書評の著者を明らかにする際には、タイムズの資料室に保存されているTLSの原本一歴代編集者により著者や原稿料が記入されていた一、TLSの編集日誌や週報など、使える資料はすべて使い、著者を突き止めることに成功しました。

新たに執筆者が明らかになった記事は、特に著名な作家の場合は著作集に掲載されていない可能性があるため、作家研究、文学史研究にとって大きな意味を持つことは言うまでもありません。

主要な記事寄稿者

以下の寄稿者は、創刊以来のTLSの寄稿者のごく一部です。数字はデータベースに搭載されている記事の件数です。名前の次に※印がある場合は、データベースに搭載されているその寄稿者の記事の全部あるいは殆どが、TLSが記事の寄稿者名を明記する方針に転換した1974年以前のものであること、つまり匿名で掲載されたことを示しています。

【文学】

Richard Edward Godfrey Aldington (※) - 494
W.H.Auden (※) - 15
Julian Barnes - 24
John Bayley - 119
Edmund Charles Blunden (※) - 972
Anthony Burgess - 141
Walter de la Mare (※) - 361
Mary Duclaux (※) - 381
Terry Eagleton - 89
T.S. Eliot (※) - 93
William Empson (※) - 32
Dennis Joseph Enright - 284
E.M.Forster (※) - 6
George Sutherland Fraser (※) - 545
Ian Hamilton - 136
Seamus Heaney - 31
Henry James (※) - 7
F.R. Leavis (※) - 38
Percy Lubbock (※) - 230
Edward Verrall Lucas (※) - 180

George Orwell (※) - 7
Anthony Dymoke Powell (※) - 233
Herbert Read (※) - 79
I.A. Richards - 36
Edgell Rickword (※) - 178
Alan Ross - 451
Lorna Sage - 182
Thomas Seccombe (※) - 180
George Steiner - 191
Julian Symons - 131
Anthony Thwaite - 188
Arthur Bingham Walkley (※) - 229
Virginia Woolf (※) - 306

【書誌学】

John Wayne Carter (※) - 995
Robert William Chapman (※) - 302
Alfred William Pollard (※) - 119

【歴史】

Denis William Brogan (※) - 1,408
Edward Hallett Carr (※) - 861
Lewis Bernstein Namier (※) - 83
Simon Schama - 15

A.J.P. Taylor (※) - 139
George Macaulay Trevelyan (※) - 25
Hugh Trevor-Roper - 39

【軍事・諜報】

Cyril Bentham Falls (※) - 1,449
Donald Harvey McLachlan (※) - 111
James Richard Thursfield (※) - 266

【美術史・美術批評】

Nikolaus Pevsner (※) - 147
Edgar Wind (※) - 11

【哲学】

Alfred Jules Ayer (※) - 10
Isaiah Berlin - 13
Gilbert Ryle (※) - 8
Roger Scruton - 73
Galen Strawson - 83

【ジャーナリズム】

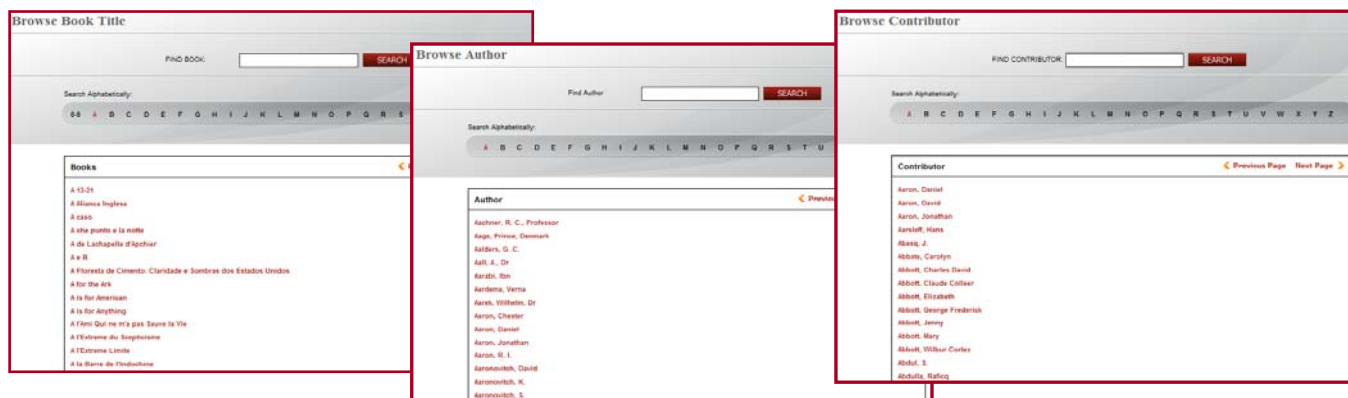
George Earl Buckle (※) - 23
Valentine Chirol (※) - 143

詳細検索

詳細検索ページでは、書評等の記事で取り上げられる書籍のタイトル名、その書籍の著者名、記事の著者名、記事名、出版社、キーワード、全文等の中から検索対象領域を選び検索語を入力、また複数の入力欄を使い、さらに発行期間で絞込みをかけることができます。また、TLSに掲載されるのは書評だけではなく、演奏会評、劇評、展覧会評、文芸動向記事、詩、投書、訃報等、様々な記事が搭載されています。これらの記事の種類でも検索の絞込みをかけることができます。

閲覧画面

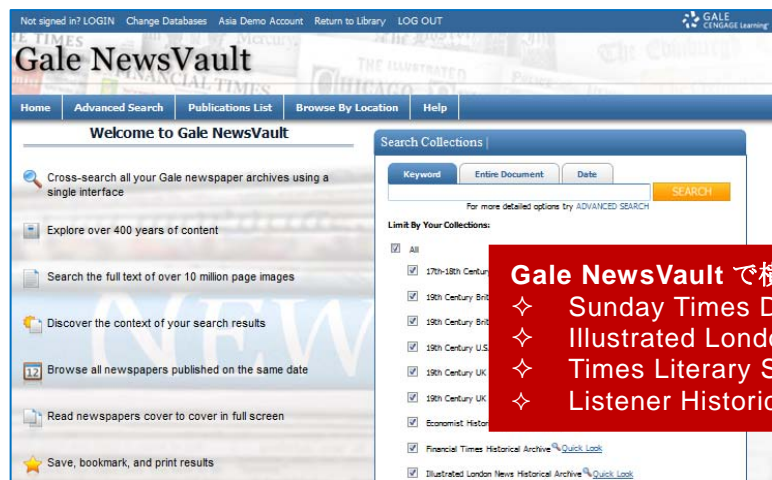
入力欄に書名(Book Title)、本の著者名(Author)、書評の著者名(Contributor)を入力し、書名、本の著者名、書評の著者名を探ることができます。また、アルファベット順の配列をブラウジングすることで探すこともできます。



Gale NewsVault

”TLS Historical Archive 1902-2007”を導入すると、新聞・雑誌を横断検索するプラットフォーム Gale NewsVault でもご利用になれます。

- ✓ 新聞、雑誌を単一インターフェースで横断検索します
- ✓ 17世紀から現代までの総ページ数1,000万ページ以上の新聞、雑誌を収録します
- ✓ 収録新聞、雑誌の全文をフルテキスト検索します
- ✓ 記事名、新聞・雑誌名、著者名、発行日、発行地で検索可能です
- ✓ 著名な新聞から、地方新聞、社会運動の機関紙、文芸雑誌、挿絵雑誌、書評誌、写真誌、報道番組のトランスクリプトまで、収録します
- ✓ 記事単位で印刷、メール配信、ダウンロード、書誌エクスポート、ブックマークが可能です
- ✓ 導入していない新聞、雑誌についても、書誌情報が閲覧可能です
- ✓ Galeの歴史新聞・雑誌データベースを一つでも購入すれば、無料でご利用になれます



Gale NewsVault で横断検索できる新聞・雑誌データベース

- ◇ Sunday Times Digital Archive, 1822-2006
- ◇ Illustrated London News Historical Archive, 1842-2003
- ◇ Times Literary Supplement Historical Archive, 1902-2007
- ◇ Listener Historical Archive, 1929-1991

他

トライアル受付中

TLS Historical Archive 1902-2007 のすべてのコンテンツと機能をお試しいただける1カ月の無料トライアルを受け付けております。下記代理店を通じてお申込みください。

株式会社 紀伊國屋書店 電子商品営業部

(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp)

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。